



「こん虫の育ち方」



3年 組 番 ()

1. チョウの育ち方

みなさんは、チョウを見たことはありますか。つかまえたことはあるでしょうか。チョウにはたくさんの種類があります。モンシロチョウ、アゲハチョウなどなど…

まずは、モンシロチョウをれい) について考えていきましょう。モンシロチョウは、キャベツなどに、たまごをうみつ) のたまごの大きさは1mmほどです。しかし、大人になると、2cm



のしゃしんです。
たまごと大人のチョウの大きさを
くらべてみよう!

小さなたまごは、どのようにして大きな大人のモンシロチョウになるのでしょうか。

○もんだい

モンシロチョウは、たまごからどのように育つのでしょうか。

○よそうしよう



「よそう」とは、
「もんだいの答えはこうじゃないかな?」と思ったことを書くところだよ!

・たまごから大人のモンシロチョウになるまで、どのようなへんかがあると思いますか?

たまご→

ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!

→大人のモンシロチョウ

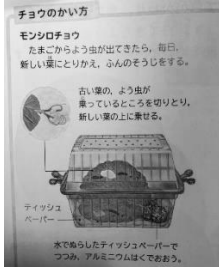
○計画を立てよう



もんだいの答えを知るには (よそうが正しいか知るには)、何をしたらいいと思うかを書くところだよ!

モンシロチョウの育ち方を知りたいときは、どのように調べたらよいのでしょうか。

<p>・何がみつよう? れい)・虫かご</p>	<p>・それを使って何をする?</p>
<p>ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!</p>	



教科書 27 ページの図です。

生きものは、正しい方法で育てましょう。

えさやりなど、毎日しなければならぬことはようチェックです！

○かんさつ

今は、ざんねんながら本物のチョウをかんさつすることはできません。かんさつするときは色や形、大きさなど、見るポイントをきめて行いましょう。2 回目のかんさつからは、前のかんさつのようすとくらべよう。

○けっか

教科書 28 ページから 31 ページを見てかくにんしながら、(かっこ) をうめよう。

・モンシロチョウの育ちは、

たまご → (よう虫) → (さなぎ) → せい虫
 ㊦ ㊩ ㊷

やじるし㊦、㊩、㊷でどんなへんかがあるのか、教科書のせつ明やしんを見ながら書こう。

㊦	㊩	㊷
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫! </div>		

○考えよう



「考えよう」では、けっかから、何がいえるか考えます。
 「よそうが正しかったか」も考えるポイントだ！

よそうは正しかった？ どれかにまるをつけよう。

(はい ・ いいえ ・ 正しいところと正しくないところがあった)

正しかったこと、正しくなかったことをじぶんの文で書いてみよう。

ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!

○わかったこと (教科書 31 ページを見て書いてみよう)

チョウはたまごから (よう虫) になり、くり返し皮をぬいで 大きくなります。

やがて (さなぎ) になり、さなぎの中で新しい体にかわって、

さなぎから出て (せい虫) になります。



2. こん虫の体のつくり

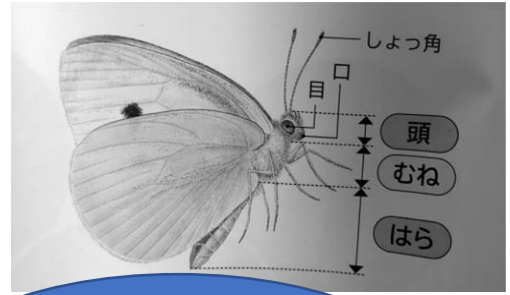
〇しらべてみよう！（教科書 34 ページでしらべられます。

チョウの体には (頭)、(むね)、(はら) の

3つの部分があります。

頭についているものは (目、口、しよっ角) で、

むねについているものは (あし) です。



ほかの虫の体はどうでしょうか。

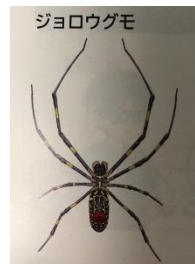


〇もんだい

虫の体のつくりは、どのようになってい

〇よそうしよう

今回は、①シオカラトンボ、②ダンゴムシ、③ショウリヨウバッタ、④ジョロウグモについて考えます。



モンシロチョウの体のつくりと同じかよそうしてみよう。

下に「同じ」か「ちがう」か書きましょう。よそうだから、今はしゃしんを見て数えないで、自分の考えを書きましょう。

①シオカラトンボ	②ダンゴムシ	③ショウリヨウバッタ	④ジョロウグモ
・体がいくつに分かれていますか → ()	・体がいくつに分かれていますか → ()	・体がいくつに分かれていますか → ()	・体がいくつに分かれていますか → ()
・あしの数 → ()	・あしがどこから生えていますか → ()	・あしがどこから生えていますか → ()	・あしがどこから生えていますか → ()

ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!

〇かんさつ

かんさつのかわりに教科書の 36、37 ページを見よう。(家でかっている虫などがいたらかんさつしてみよう)

かんさつは、「体がいくつに分かっているか」、「あしの数は何本か」、「あしはどこから生えているか」にちゅうもくしましょう。

○けっか

教科書 36、37 ページを見て下のひょうにきろくしましょう。

<p>①シオカラトンボ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体がいくつに分かれているか。 ・あしが何本あるか。 ・あしはどこから生えているか。 	<p>②ダンゴムシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体がいくつに分かれているか。 ・あしが何本あるか。 ・あしはどこから生えているか。
<p>ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!</p>	
<p>③ショウリョウバッタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体がいくつに分かれているか。 ・あしが何本あるか。 ・あしはどこから生えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あしが何本あるか。 ・あしはどこから生えているか。

○かながえよう

かんさつのポイントがすべてモンシロチョウと同じだった虫は

→(シオカラトンボ)、(ショウリョウバッタ)

よそうは正しかった?○をつけよう。

(はい・いいえ・正しいところと正しくないところがあった)

このように

大切

- ・体が頭、むね、はらの3つに分かれている。
- ・むねに6本のあしが生えている。

のりょう方に当てはまる虫を こん虫 という。

○わかったこと (教科書 37 ページを見て書いてみよう。)

こん虫のせい虫の体は、(頭)、(むね)、(はら) の3つに分かれています。

むねに (6) 本の足があり、はねがついているものもいます。はらはいくつかのふしからでき

ています。ダンゴムシやクモのように、こん虫とは体のつくりがちがう虫もいます。

3. こん虫の育ち方

- ・体が頭、むね、はらの3つに分かれている。
- ・むねに6本のあしが生えている。

モンシロチョウもショウリョウバッタも、こん虫であればせい虫の体では、育ち方はどうでしょうか。



○もんだい

こん虫は、どのようなじゅんじょで育つのでしょうか。

☆ふくしゅう！

モンシロチョウはたまごからよう虫が出てき、キャベツを食べ、くり返し皮をぬぎながら大きくなります。大きくなったよう虫はさなぎになり、しばらくするとさなぎからせい虫が出てきます。

○よそをしよう

今回は、①シオカラトンボ、②ショウリョウバッタ、③カブトムシを調べます。

モンシロチョウと同じ育ち方か、よそをしてみよう。ちがうと思うときは、どうちがうのかも書いてみよう。

①シオカラトンボ	②ショウリョウバッタ	③カブトムシ
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!</p> </div>		

○計画を立てよう



教科書ページの図です。
トンボのよう虫は「やご」と呼ばれていて、水の中で生活しています。

育ち方を知りたいときはよう虫をかって、育ててかんさつできるとよい。

○かんさつ

かんさつのかわりに教科書の40、41ページを見よう。かんさつするときは、ほかのこん虫とくらべながらしよう。「くらべる」とは、同じところとちがうところをさがすことです。

○けっか

教科書の40、41ページを見て書きましょう。

モンシロチョウとくらべて育ち方はどうですか。(モンシロチョウと同じところ、ちがうところはどこですか。)

①シオカラトンボ	②ショウリョウバッタ	③カブトムシ
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!</p> </div>		

○考えよう

モンシロチョウの育ち方は「たまご→よう虫→さなぎ→せい虫」でした。

育ち方がモンシロチョウと同じだったものは？

→ (カブトムシ)

育ち方がモンシロチョウとちがったものは？

→ (ショウリョウバッタ)、(シオカラトンボ)

よそうは正しかった？○をつけよう。

→ (はい・いいえ)

2つのグループでちがうところを文で書いてみよう。

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ここは先生が見るので丸を付けなくて大丈夫!</p> </div>	(ヒント：さなぎ)
--	-----------

○わかったこと (教科書41ページを見て書いてみよう。)

<p>こん虫は、「(たまご) → (よう虫) → (さなぎ) → (せい虫)」というじゅんじょや、または「(たまご) → (よう虫) → (せい虫)」というじゅんじょで育ちます。</p>

よう虫からさなぎになった後、せい虫になる育ち方を「かんぜんへんたい」と言います。
 よう虫から直せつ、せい虫になる育ち方を「ふかんぜんへんたい」と言います。
 トンボはよう虫とせい虫のすがたがちがうからかんちがいしやすいけど、さなぎにならないので「ふかんぜんへんたい」なんだ!



よう虫を漢字で書くと「幼虫」になる。
 この「幼(よう)」は「ようち園」の「よう」でもあるよ。
 また、せい虫は「成虫」になる。
 この「成(せい)」は「せい人式」の「せい」でもあるよ。
 どちらが子どものすがたで大人のすがたか、おぼえるときのヒントにしてみよう!